

令和 7 年度 第 1 回施設運営協力委員会記録

日 時：令和 7 年 11 月 18 日(火) 10:30～12:00

場 所：ネイパル北見第 1 研修室

出席者：8 委員（欠席 2 名）

福田理事長、加茂所長、熊谷社会教育主幹 計 11 名

議事

○令和 7 年度施設運営及び主催事業報告について(10 月まで)

①利用者状況について

・令和 7 年 4 月～10 月までの、利用状況の説明。延べ宿泊利用者数は、昨年度比較 742 名の減。団体数も同じく 20 団体の減。日帰りはプラスだが、団体は 7 団体の減。全体的に団体数の減があり、利用者数も例年を下回っている。12 月までの閑散期の利用団体としては、カーリングの大会や、数校の学校団体、スポーツ団体などの利用がある。延べ利用者についても、現在 1,000 名程の減少。利用料金も 20 万円の減。

②主催事業状況について（別添報告書添付）

・今年度 14 事業を計画。管理目標の参加者充足率は 140% で、今後の事業も 90% を下回らないよう実施していく。また、今年から LINE を使った募集や広報を実施しており、今現在 500 名ほどの登録がある。チラシのコストと比較すると同額の経費だが、申し込み、事前案内、健康調査などまとめてできるため、職員負担は軽くなっている。

今後も、SNS を使用した広報やオホーツク管内市町村からの参加人数分布を分析し、効率的な参加者募集を進めていく。

また、今年度は自主事業（登山に特化した）も実施しているが人数は少ない。

第 2 四半期までの事業報告は別添参照。

③施設管理目標について

・現在の数値から、A 評価で推移している。

④アウトリーチ事業（利用促進及び地域連携含む）について

・ここまで、委員さんのご協力もあり、様々な団体から要望をいただき、色々なテーマで職員を派遣している。また、地域連携についても、市町村と連携事業を行った実績もあり、引き続き積極的にかかわり、施設内外で連携を強めていく。

⑤利用者満足度について

・公表前データーになるが、全体的には、高い評価をいただいている。昨年低かった施設建物についての評価が大幅にアップした。また、食事代アップの影響により下がった項目もあった。全体的には数% の範囲内で、おおむね高い満足度になっていた。

【委員からの質問、意見など】

・9 月は日帰り利用者数が昨年より増加しているが理由はあるか？（A 委員）

→北見市の親子事業、社会福祉協議会の高齢者、SUP、学校の利用などがあった。

また、そのほかの利用者の減少については、団体人数の減少や連休中の団体や家族利用がなかったことが原因として考えられる。

- ・常呂球場の利用ができなくなった野球団体の影響はあるか？（B 委員）

→今年度は野球の合宿がなかった。空いたところは他団体でうまたこともあり、影響は少なかった。次年度、球場は使用できないが宿泊のみ予定している。

- ・残り半期で見込める団体はあるか？（C 委員）

→1月以降は、中学校の宿泊研修や研究団体（大学含む）などがあり他施設よりは利用者が多い。閑散期（10月～12月）の週末はパラスポーツ指導者講習会や野外救急法研修、カーリング団体など利用があったが、平日は利用者が見込めていない現状。

- ・今後（夏から冬）の学校利用を考慮した、活動について何か考えているか？（C 委員）

→現状のプログラムでは、スノーシュー、歩くスキー、芝生での雪遊び等が中心。昨年は雪が少なく、プログラムにも影響があった。

- ・野鳥の観察などはどうですか？（D 委員）

→職員で精通している者がいないが、ボランティアで来ている地域おこし隊の人々協力してもらうことは可能だと思う。アザラシもきていたので、解説や案内ができるプログラムの提供も検討したい。

- ・平日の利用者促進が課題であれば、高齢者対象のプログラムなどはどうか？

（食生活に関することで漬物つくり、麺料理、老人クラブお楽しみ会など）（E 委員）
→いただいた意見を参考に、平日利用者対象のプログラムも検討したい。

- ・主催事業の募集をLINEに切り替えた効果についてはどうか？（B 委員）

→定員の充足率のみを考えると有効と感じるが、LINE未登録の場合、チラシが見れない側面もある。紙媒体の一定の効果も承知しているので、今後検証しながら対策をとっていきたい。現在教育委員会経由で電子データーを配布していただくようお願いしているが、実際にどこまで届いているか不明。（C 委員）学校では、いろいろなものが電子媒体で送られてきており、埋没している可能性があるので、色々と検討の余地があるのでは？

- ・アウトリーチでの、高齢者対象のプログラムメニューについて（E 委員）

→ネイパルのノウハウを活かした防災関係のプログラムなどもあると利用したい。

- ・エアコンの取付状況について（E 委員）

→現状の施設電気設備では取り付けられないが、扇風機を各部屋に1台。また、非常口に網戸設置や簡易エアコン設置等で対応している。他の道立施設も同じような状況である。

○情報提供

- ・宿泊税に関して

令和8年4月1日より、現在の施設利用料に300円の宿泊税が課税される。

- ・山小屋の解体記事について…新聞等で紹介された。

- ・国立施設の閑散期の閉館について…国立施設の方向性について説明。

○事務局より

- ・次回の開催は、3月を予定している。

以上